

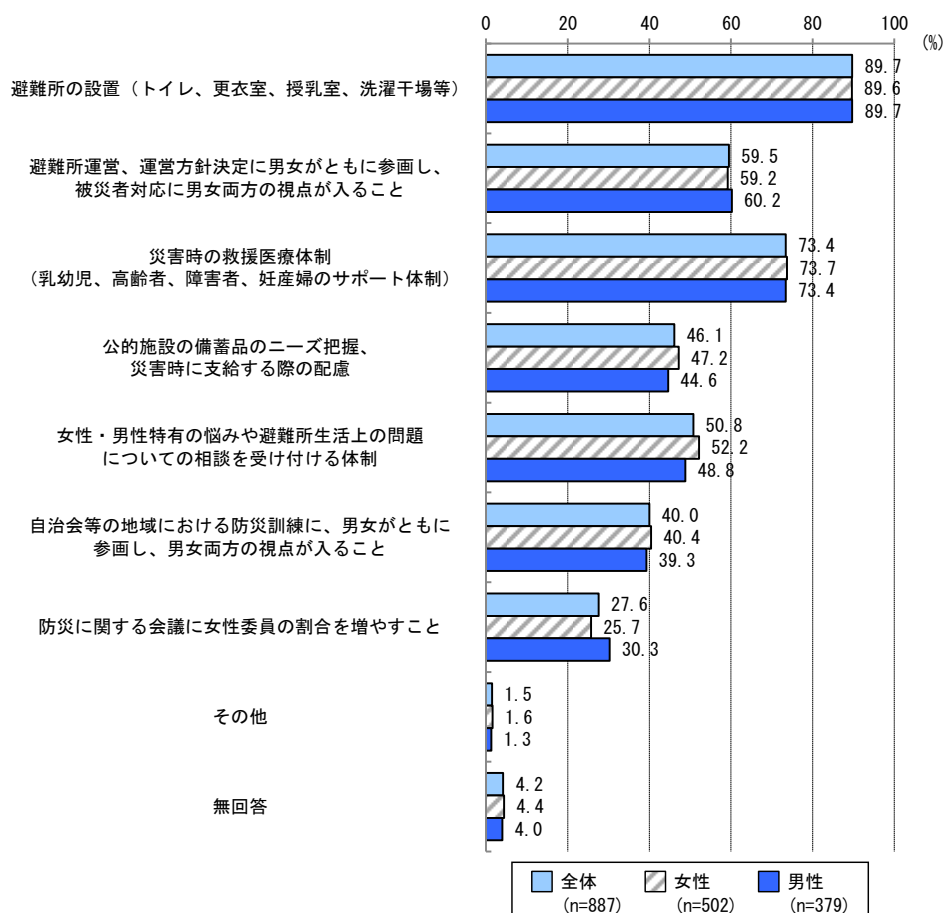
## 7. 市の施策等について

(1) 防災・災害対策において性別に配慮した対応が必要だと思うこと

問34 災害時は、女性と男性では災害から受ける影響が異なるため、女性の視点を加えた対応が必要と言われています。あなたは、防災・災害対策において、性別に配慮した対応で何が必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

防災・災害対策において性別に配慮した対応が必要だと思うものについては、「避難所の設置（トイレ、更衣室、授乳室、洗濯干場等）」が89.7%と最も高く、次いで「災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦のサポート体制）」（73.4%）、「避難所運営、運営方針決定に男女がともに参画し、被災者対応に男女両方の視点が入ること」（59.5%）となっています。

性別で大きな差はみられません。



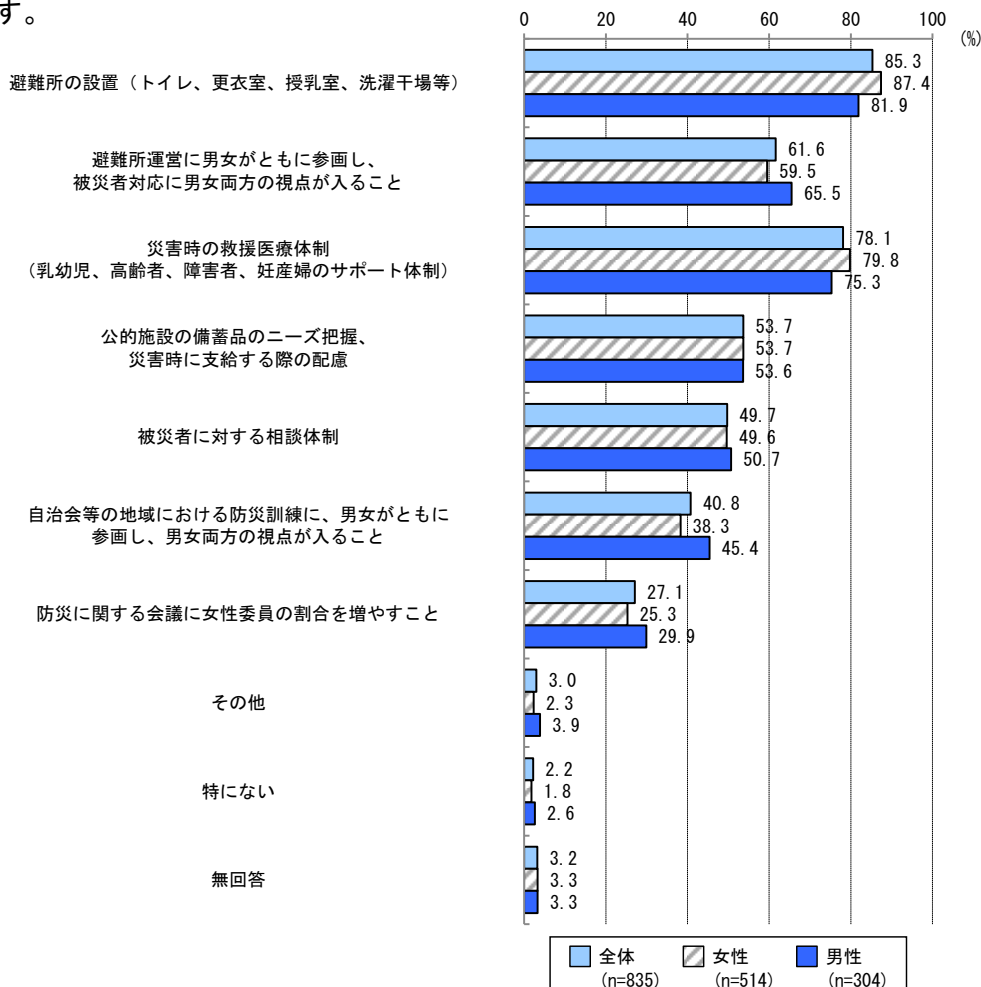
◇ その他意見（主な意見を抜粋）

・ 性被害等の防止対策。（女性30歳代）
・ LGBTQに対しても配慮を！（女性40歳代）
・ ペットの避難（女性50歳代）
・ 自治会等に今以上の人的負担をかけるな。（男性60歳代）
・ 災害大国とも言える日本にあって、コロナ禍で余りに脆弱な我が国の危機管理意識が浮き彫りになった事は国民即ち市民が分かった事です。防災、災害対策についても、我々に三田市として個別事業（問34の選択肢全て）に市民に備えが如何なる体制、対応が全く知らせていないと思う。（男性70歳代）

◆ 前回調査との比較（※一部選択肢が今回調査とは異なる）

全体では、前回調査より「公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮」が7.6ポイント低くなっています。

性別にみると、前回調査より、「男性」で「避難所の設置（トイレ、更衣室、授乳室、洗濯干場等）」が7.8ポイント高くなっています。また、「災害時の救急医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦のサポート体制）」が「女性」で6.1ポイント、「避難所運営、運営方針決定に男女がともに参画し、被災者対応に男女両方の視点が入ること」が「男性」で5.3ポイント、「公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮」が「女性」で6.5ポイント、「男性」で9.0ポイント、「自治会等の地域における防災訓練に、男女がともに参画し、男女両方の視点が入ること」が「男性」で6.1ポイント低くなっています。



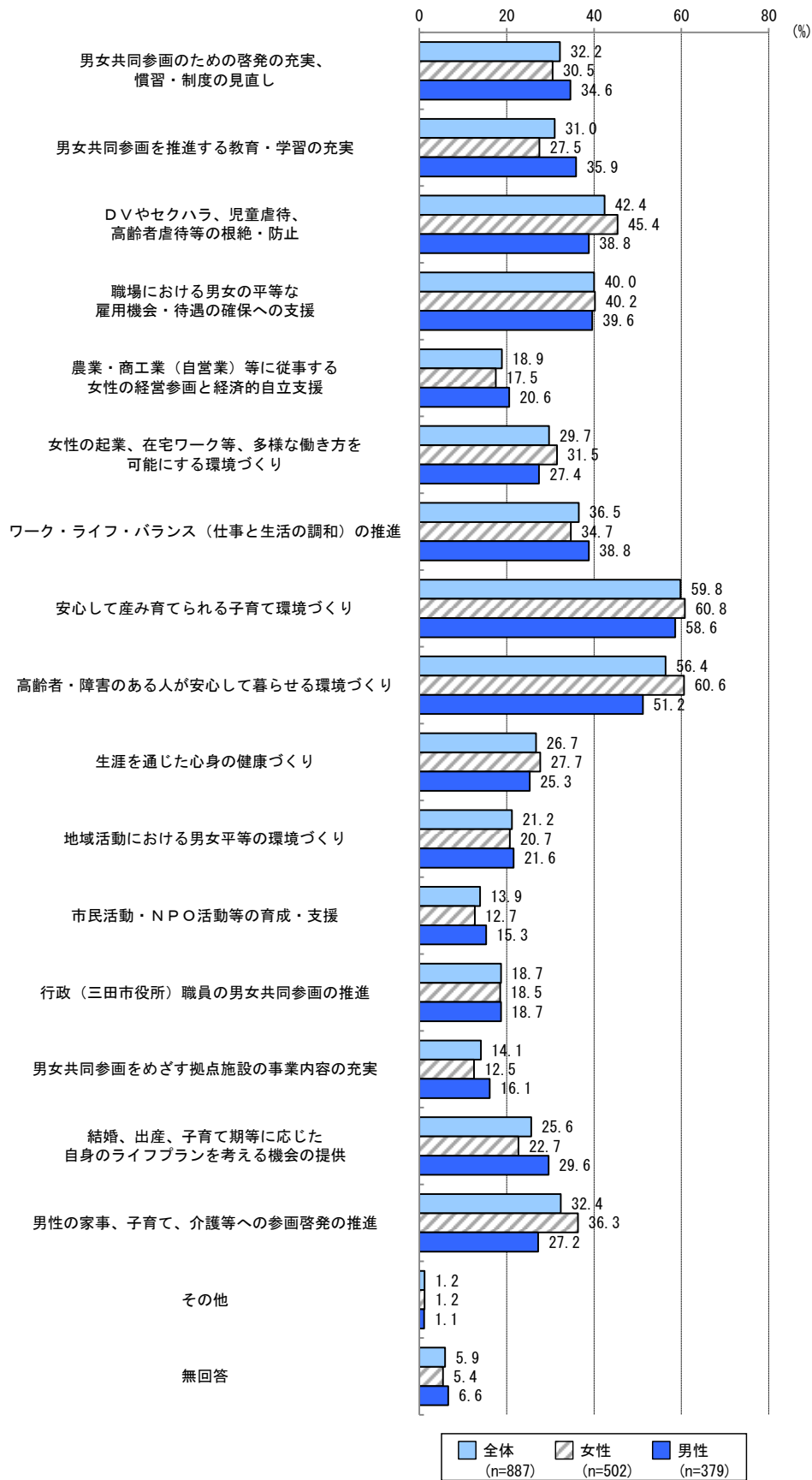
(2) 三田市が男女共同参画推進のために力を入れるべきこと

問35 三田市は、男女共同参画を推進するために、今後、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

三田市が男女共同参画を推進するために力を入れるべきだと思うことについては、「安心して産み育てられる子育て環境づくり」が59.8%と最も高く、次いで「高齢者・障害のある人が安心して暮らせる環境づくり」(56.4%)、「DVやセクハラ、児童虐待、高齢者虐待等の根絶・防止」(42.4%)となっています。

性別にみると、「女性」では「DVやセクハラ、児童虐待、高齢者虐待等の根絶・防止」・「高齢者・障害のある人が安心して暮らせる環境づくり」・「男性の家事、子育て、介護等への参画啓発の推進」で「男性」より5ポイント以上高くなっています。また、「男性」では「男女共同参画を推進する教育・学習の充実」・「結婚、出産、子育て期等に応じた自身のライフプランを考える機会の提供」で「女性」より5ポイント以上高くなっています。

年代別にみると、「10～20歳代」で「職場における男女の平等な雇用機会・待遇の確保への支援」・「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」・「安心して産み育てられる子育て環境づくり」・「結婚、出産、子育て期等に応じた自身のライフプランを考える機会の提供」が全体より10ポイント以上高くなっています。また、「30歳代」では「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」・「女性の起業、在宅ワーク等、多様な働き方を可能にする環境づくり」・「結婚、出産、子育て期等に応じた自身のライフプランを考える機会の提供」、 「60～70歳代」では「高齢者・障害のある人が安心して暮らせる環境づくり」が、全体より10ポイント以上高くなっています。



<年代別クロス表>

(%)

	調査数	男女共同参画のための啓発の充実、慣習・制度の見直し	男女共同参画を推進する教育・学習の充実	DVやセクハラ、児童虐待、高齢者虐待等の根絶・防止	職場における男女の平等な雇用機会・待遇の確保への支援	農業・商工業（自営業）等に従事する女性の経営参画と経済的自立支援	女性の起業、在宅ワーク等、多様な働き方を可能にする環境づくり	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	安心して産み育てられる子育て環境づくり
全体	887	32.2	31.0	42.4	40.0	18.9	29.7	36.5	59.8
10～20 歳代	71	23.9	36.6	45.1	<b>53.5</b>	22.5	35.2	<b>47.9</b>	<b>70.4</b>
30 歳代	84	31.0	29.8	42.9	45.2	19.0	<b>40.5</b>	<b>48.8</b>	59.5
40 歳代	122	23.0	26.2	36.9	36.1	13.9	36.1	44.3	59.8
50 歳代	160	33.8	25.0	42.5	38.1	18.1	30.6	41.3	58.1
60 歳代	222	37.4	37.4	42.8	38.7	18.5	24.3	34.2	60.4
70 歳代	166	33.7	32.5	45.2	41.0	19.9	24.7	23.5	60.8
80 歳以上	62	35.5	24.2	40.3	32.3	25.8	25.8	22.6	46.8
	調査数	高齢者・障害のある人が安心して暮らせる環境づくり	生涯を通じた心身の健康づくり	地域活動における男女平等の環境づくり	市民活動・NPO 活動等の育成・支援	行政（三田市役所）職員の男女共同参画の推進	男女共同参画をめざす拠点施設の事業内容の充実	結婚、出産、子育て期等に応じた自身のライフプランを考える機会の提供	男性の家事、子育て、介護等への参画啓発の推進
全体	887	56.4	26.7	21.2	13.9	18.7	14.1	25.6	32.4
10～20 歳代	71	43.7	28.2	23.9	12.7	19.7	15.5	<b>38.0</b>	39.4
30 歳代	84	32.1	25.0	21.4	10.7	13.1	9.5	<b>40.5</b>	39.3
40 歳代	122	42.6	18.9	13.9	7.4	18.0	12.3	24.6	30.3
50 歳代	160	56.9	26.3	16.3	8.8	13.8	13.1	21.9	25.6
60 歳代	222	<b>65.8</b>	26.6	25.7	17.6	19.4	14.0	23.4	36.9
70 歳代	166	<b>67.5</b>	33.1	21.1	18.1	24.1	15.7	21.7	27.1
80 歳以上	62	66.1	27.4	29.0	21.0	22.6	21.0	21.0	33.9
	調査数	その他	無回答						
全体	887	1.2	5.9						
10～20 歳代	71	-	2.8						
30 歳代	84	2.4	1.2						
40 歳代	122	0.8	6.6						
50 歳代	160	0.6	1.3						
60 歳代	222	0.9	3.6						
70 歳代	166	2.4	11.4						
80 歳以上	62	1.6	19.4						

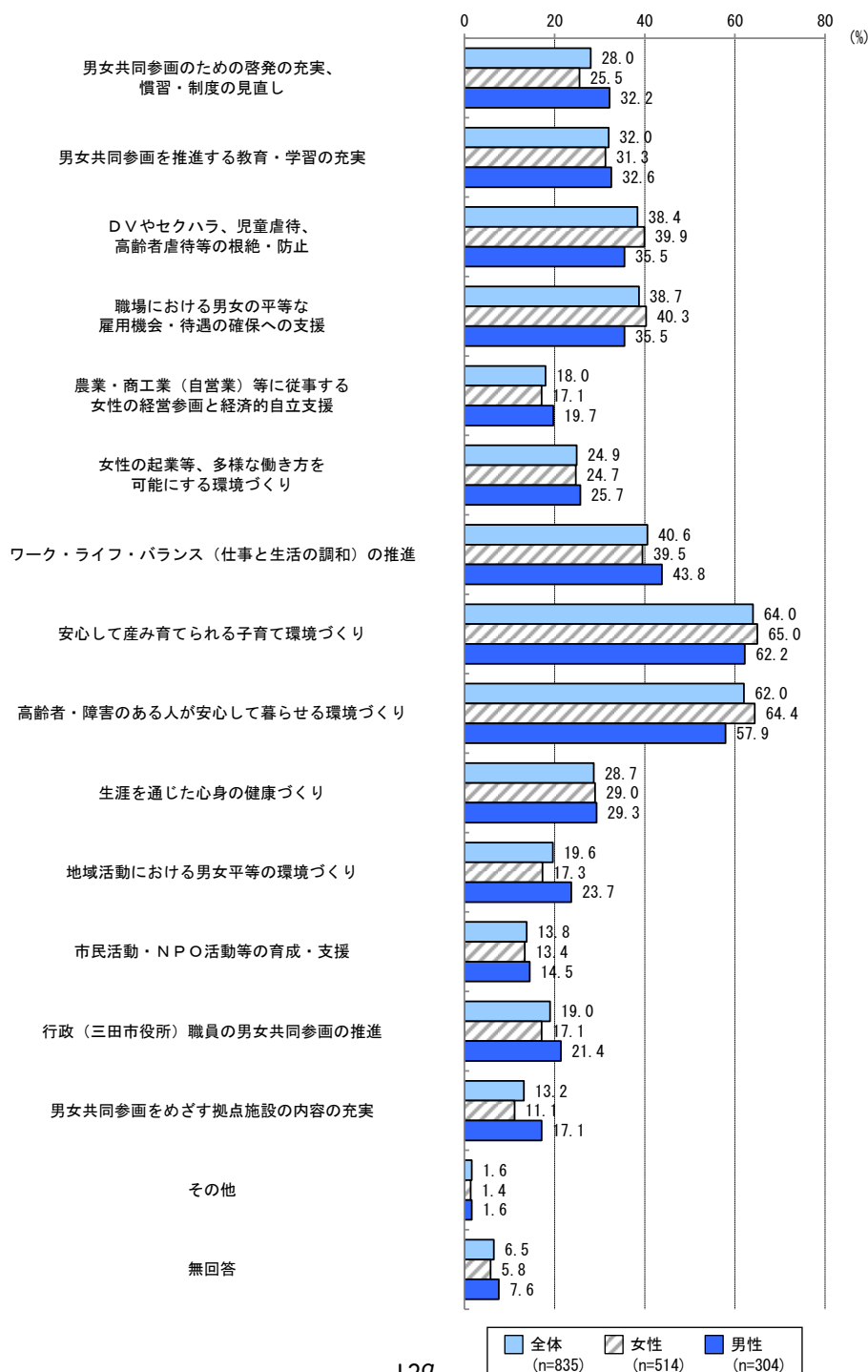
◇ その他意見（主な意見を抜粋）

・ 全ての人が自分の選択したライフプランを自信を持って安心して過ごせる環境。（女性40歳代）
・ ワクチン集団接種の効率を良くしてほしい。（女性60歳代）
・ 1～16全てにおいて三田市民にわかるよう広報してほしい。（男性60歳代）
・ 学校教育の場で男女平等等の重要性を教える。（男性70歳代）

◆ 前回調査との比較（※一部選択肢が今回調査とは異なる）

全体では、前回調査より「高齢者・障害のある人が安心して暮らせる環境づくり」が5.6ポイント低くなっています。

性別にみると、前回調査より、「女性」で「DVやセクハラ、児童虐待、高齢者虐待等の根絶・防止」、「男女共同参画の為の啓発の充実、慣習・制度の見直し」、「女性の起業、在宅ワーク等、多様な働き方を可能にする環境づくり」が5ポイント程度高くなっています。「男性」では、「高齢者・障害のある人が安心して暮らせる環境づくり」、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」が5ポイント程度低くなっています。



## 8. 自由意見

問36 最後に、三田市に対して、「男女平等」や「男女共同参画」に関するご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。用紙が足りない場合は別の用紙にご記入ください。

男女共同参画社会実現のための意見、要望については、122件（男性：59件、女性：62件、回答しない：1件）の自由記述が寄せられました。以下に主な意見を抜粋したものを掲載しています。

### <男女共同参画・男女平等について>

- ・男女平等を実現するために“女尊男卑”となってはならない。本調査票においてもDV（デートDV）の項では男性が加害の立場での質問となっており“女尊男卑”の片鱗がうかがえた。家庭内で暴力を振るのは男性だけではなく女性でもある。男女の体力差が生じるのは事実なので真に平等な就労機会を作り出すことはできないのではないか。男女平等の啓発には一般男女向けというよりは企業経営者等向けの活動が良いのではないか。（男性30歳代）
- ・「男女平等」ということは、男性、女性が同じではない。身体的にも肉体的にも異なるので、その立場を踏まえた平等を掲げてほしいと思います。（女性60歳代）
- ・戦後の男女平等の教育を受けましたが、学校を卒業したら、社会はそうはいきませんでした。本当の男女平等はまだまだです。でも今の若い人たちは、私たちの世代と違い男女平等に近づいていると思います。（女性70歳代）
- ・男性、女性と性に拘らず、一人の人間として、向き不向きがあると思うので、その人が何を望んでいるのかにより、役割分担するのがよいのではないかと思う。（女性70歳代）
- ・男が、女がと言ってる時点で差別です。（男性18～19歳）
- ・社会に於ける女性のリーダーを積極的に発掘すること。中、高校時代、学校に於いて生徒会長等の自治活動は女生徒が優れた力を発揮している。成人になっても多方面のリーダーになれる力は十分供え持っている。（女性80歳以上）
- ・人各々誰一人として全く同じ人はおらず、みんな各々の個性があり、真の平等とは各人の個性が尊重され、各人の能力・長所が十分活かされた状態と考えます。一方、本アンケートで問われている「平等」は見かけ上の同じ扱いを意味しており、真の平等とは全く相反するものである事を断じる。外見だけでもハッキリ異なる男・女を同じに扱う事の不合理を再認識してほしい。（男性70歳代）
- ・苦情・悩みを打ち明けた時それを聞いた人が、真摯に受け有言実行する方の環境づくりが必要と考える。（男性70歳代）
- ・男女平等であるべきであるが、たとえば力仕事等は男性となる。元々の体格等違うので、そうあるべきだが、すべてが男女平等とならない。  
女性専用車や女性は〇割引とか、女性優遇もあり、これは逆差別？いろいろ考える事があるが、基本男女平等であるべき。（男性60歳代）

- 
- ・ただ平等と言っても男性女性特有の問題やどうにもならない違いがあって、真に平等に扱うことは不可能と感ずます。誰もが自分自身で思ふ幸せを追求できる仕組みや、幅広いサポートが必要なのかと思ひました。改めて考えるきっかけになるアンケートでした。(女性40歳代)
  - ・男女平等、というよりも、一個人が人として平等であればいいなと思ひます。それぞれの個性が発揮できる社会だと生きやすいなと思ひます。(女性40歳代)

#### <働き方について>

- ・行政だけでなく企業など職場の環境を整える必要があると思ふ。行政には保育所などの充実、企業には女性が出産した後もキャリアを継続できる体制づくり。夫の転勤に伴っての離職を防ぐなど。(女性50歳代)
  - ・制度によって環境や意識を変える事、女性政治家や管理職を増やし意見が反映される事が重要だと思ひます。(女性40歳代)
  - ・行政からの指導は企業サイドへ行うべきである。その際、その企業が実際に行っているかどうかの確認がとれる制度、環境づくりがとても必要だと感ずます。口だけで終わってしまうケースが多いので必ず実行してほしい(時間がかかるのもダメ)。(男性50歳代)
  - ・議会の男女比をみれば、社会での男女比が分かる。男性が多数を占めているということは、男女平等ではない。「女は家庭」というのが根付いていて、働きたくても働けない人は多いと思ふ。議会の男女比を変えないと市は変わらない。(女性40歳代)
  - ・私は男性だから、女性だから、という理由を排除して全てを平等に見たときに、能力のある人材を昇進させるのが男女平等であると考えます。その結果によって、管理職の割合が男性の比率が高かったり、女性の比率が高かったりしてもそれは男女平等に基づくものであるので、仕方ないことだと考えます。(男性20歳代)
  - ・問22男性が家事子育てのことをするには職場での理解が必要。休んでも大丈夫なように社会が社会を守ることで、そこに働く人も守られて男女ともいろんなことに共同参画できるのかなと思ひます。特に中小企業。問23年配の方の意識が変わらないと変えていくのは難しい。(男性50歳代)
  - ・男女平等と合わせて所得の格差の是正も重要と思ひます。所得の格差が男女の格差の根源ではないかと思ひます。(男性50歳代)
-



### <両立支援・子育て支援について>

- ・女性が男性と同じように仕事ができるようになるために（ひとり親が十分な賃金をもらえるようにも）、土、日、祝にも保育園、児童クラブを開所すべき、職場が残業を必要とするなら、ベビーシッターやファミサポの利用料を助成すべき、子育てを父、母の両方、またはいずれかで、時間、心の面からもゆとりをもってできるように、子どもの習い事、学習が充実できるように。在宅勤務、リフレッシュ子育て休暇の奨励、私立高校、公立高校の無償化。  
（女性50歳代）
- ・女性の経済的自立を助ける、幼稚園保育園の拡充と保育士への援助、介護施設の拡充と賃金の補填（市職員と同等）。（男性70歳代）
- ・男女で共働きする環境が整っていない。なぜ保育所は朝7:00から預けられるのに小学校は8:00以降しかだめなのか？児童クラブは8:30からなのか、どこに通勤することを想定していますか？なぜ子どもが小学校にあがる時に仕事を辞める人が多いのか。どちらが辞めるかとなった時に収入の多い方が仕事を続けるとなる。最低限仕事を続けられる環境を整えてから議論すべきではないですか？子どもが小学校行きながら、共働き出来る環境があるといえますか？（男性40歳代）

### <高齢化社会・介護について>

- ・高齢者が安く利用できるスポーツジムがあるといい。一人では運動することができないため、友達もできるし生きがいを持てるのではないのでしょうか。（男性70歳代）
- ・収入の少ない高齢者が、安心して入れる施設が増えてほしい。（女性70歳代）
- ・高齢男性の為の料理講習会等、高齢男性の意識改革の場もあれば良いと思う。若い男性の方がずっと家事に参加していると思う。（女性60歳代）
- ・三田市もニュータウンの入居者を中心に老人が増えていきます。介護の問題は男女共同参画の点からも非常に大きな問題となると思います。その一対策として、公的機関（市役所、病院、駅など）への交通アクセスの充実（デマンドバス・タクシーなど）や運賃補助を施策としてよろしくをお願いします。  
また、その点からも市民病院の継続・充実は是非とも必要です。北摂・丹波地域の中核都市として三田市はなるべきであり、そのためにも充実した市民病院は欠かせないものと考えます。（男性60歳代）

### <家庭における役割分担について>

- ・男性ばかり優遇されている（賃金）。「仕事」と言えば家庭、育児、介護から逃れられるので、それはおかしい（無責任だ）恥ずかしい事という事を、子どもの頃から教育すべき。女性の負担が減らない。男女平等が口ばかりでなく、女性の尊厳が守られる社会へ、男性は家事育児介護をしないから、定年まで勤められる事を認識すべき。（女性50歳代）
- ・男性だからとか女性だからでなく、能力がある方が稼ぐ方を中心に考えたら良いと思う。外で働いている人に家事育児介護など無理な場合も多いと思う。限界まで働いている人に、更に仕事を増やす事が、家全体の利益になるか、それぞれの家で違うと思う。（女性50歳代）
- ・家事について、妻は「自分のやり方」以外は認めない。また、自分が嫌いな家事、例えば掃除であっても、目の前ですると嫌味だと言うのでこっそりする必要がある。無意識にテリトリーの侵害と捉えているのかもしれない。気持ち良く役割分担するためには、個々の感情の部分から認め合う文化を根付かせる事が不可欠と思う。

社会参画や家事分担の平等もDVの防止も、子どもの頃からの教育と習慣、社会の居場所の確保が重要。大人になってから意識の変革や感情の部分を強化することは至難の技。すぐに成果がなくても着実に成果につながる施策に予算やマンパワーを集中する工夫をお願いしたい。（男性50歳代）

### <地域活動・まちづくりについて>

- ・地域不平等（交通機関・商業施設）→片寄りがある。成人した子どもの意見です。テクノ企業がたくさん進出してきてくるのは良いが朝の交通渋滞をどうにかしてほしい。事故にもつながる。（女性50歳代）
- ・三田市にはニュータウンがせっかくあるのに出産や、子育てがまだ充分でない所があり、三田市民病院でもっと産婦人科や小児科も充実させて近くで安心して子育てが出来ようになれば良いのと思う。人間生まれてから死ぬまで一度も病気なしという訳にはいかないのだから、特に病院を地域の目玉にする事ぐらいしたら良いと思う。看護師も男女で働けるのだから女性の医師も多めに活躍できる場があったらなあ。医者の世界も男が主流だから三田市から変えていくとか。全国的に見ても三田市は住むのに安心!となれば人も集まってくるが。近くに病院なくなるとますます人口流出と思う。（女性60歳代）
- ・来年度第2子が誕生する予定で、三田市民病院で産む予定です。今、市で進められている神戸市北区の済生会病院と市民病院の統合をめぐる議論を伺っていると、将来世代が子育てする際、分娩できる病院がなくなるかもしれない事に強い危機感を感じます。財政上の課題、人員配置の課題がある事は承知していますが、ぜひ市民病院と産科を残していただきたいと願っています。（男性30歳代）
- ・コロナで社会とのふれあいが少なくなり、地域で参加出来る趣味やサークル、ボランティア、アルバイト等高齢者も生きがいのある場を設けて頂きたいです。（女性70歳代）
- ・ニュータウン以外の地域は昔からの風習が残っているので市均一で考えなければ、ニュータウンと、以外の地域の認識の差が広がると思います。（男性50歳代）

- 
- ・高齢化の進む中の介護に対して、また女性の出産・子育てに寄与できる病院・施設が少ないことに市の目は向いているのでしょうか？産婦人科・小児科またその数・内容が神戸市と比較し格段に劣ることは、三田市の女性市民に対してへの配慮が全くなされてないことを物語っていると考えます。三田の男性の男女平等の意識はかなり高いと思うので、女性の不安や負担を低減することをまず第1に考えないといけないと思います。(男性60歳代)

#### ＜行政の取組について＞

- ・今回このような調査票を受け取り、このようなことを考えて下さっていて相談できることもできると分かったこともありました。知らない方、困っていてもどうしていいのかわからない方も多いと思います。もっと分かりやすく聞きやすい窓口があれば嬉しく思います。(女性50歳代)
  - ・あまり周知されていないように感じます。(男性50歳代)
  - ・「男女平等」や「男女共同参画」三田市の取り組みをもっともっとアピールしないと、言葉だけ先行して内容が伝わってこない。(女性60歳代)
  - ・参画啓発の推進が今まで以上に出来るよう、努めてほしい。(男性70歳代)
  - ・大変難しい問題だと思いますが、息の長い取組みで良い方向へ向かうことを期待しています。(男性40歳代)
  - ・本気で取り組むなら、まずは行政が現場(自治会など)へ動くことが必要と思います。例えば「相談窓口を設置しています」は自己満足にすぎないと思います。ところで、このアンケートは役に立ちますか？日常からメンバーの方々が幅広く観測していれば、キャッチできる事ではないでしょうか？コンサルなど外部から言われた事かもわかりませんが、これに税金と時間をかけるのは反対です。とはいえ大事なことです。市民への見える化を図り頑張ってください。(女性60歳代)
  - ・「男女共同参画」が市民の為に何を行っているか不明。もっと各自自治体と協力して発信してほしい。例えばセミナー等、市役所に行かないとわからないのでは、何の為の企画なのか、お金のムダ使いだと思う。(女性60歳代)
  - ・行政としては、いろいろなサービスを用意し、これを市民にうまく伝えて、活用して貰うようにすれば良いと思う。やる前から色々考えても正解は分からないと思うので、いろいろやってみて、止めた方が良いものは止め、修正した方が良いものは修正していけば良いのではないかと思う。失敗を恐れず、失敗しても良いからどんどんトライしてください。期待しています。(男性60歳代)
  - ・DVをしている本人はその自覚がない人がほとんどです。その事に気付かせるために全ての市民に対して講演会開催するとか、広報誌やニュースアプリの地域ページなどに取り上げるとか、自覚させる機会を設けてほしい。DVを受けた側は、相手に怖くて反論もできず、泣き寝入りして耐えてる人が多いと思う。また、『お前がそうさせてるんだ』と言われ続けると、本当にそう思ってしまい相手からマインドコントロールされ、誰にも言わないという状況が続けば明るみになることはなく、行政はどうやってそのような人を見つけるのでしょうか？何年も恐怖に怯えている人は現実にいます。DVだけではなく、子どもへの虐待も同じです。一日も早く苦しんでいる人を救済してほしい。(女性40歳代)
  - ・講演など、学習する機会を増やしてほしい。(女性60歳代)
-

### <アンケートについて>

- ・今回全ての設問に回答しましたが、少し質問数が多いのではないのでしょうか。もう少し精選して頂けると嬉しいです。負担感がある。(男性60歳代)
  - ・このアンケートの主旨が不明。内容の統計をとって、どう活かされるか分からない。質問項目も何が知りたいのか？(男性40歳代)
  - ・今回、このようなアンケート調査が来てこのような活動の事を知った。定年退職生活を送っているせいかもしれないが、具体的にどのような事が行われているのかが良く見えない。このアンケート結果が何に、どのように反映されるのかが分かるようにしてほしい。(男性60歳代)
-